

*a Story of  
working site*



除虫菊と上山英一郎生家



日本の夏といえば、蚊取り線香。その生まれ故郷は和歌山県の有田市って知っていましたか？大日本除虫菊の創業者、上山英一郎は1862年有田の蜜柑農家に生まれ、高い志を持って上京し慶應義塾で教育を受けた。病で帰郷するも福沢諭吉の紹介で、アメリカ・サンフランシスコで植物輸入会社を営むH.E.アモア氏と出会い、除虫菊の種子を譲り受け、棒状の蚊取り線香を考案、発売する。その後、妻・ゆきの「渦巻き型にすればよいのでは」というアイデアから着想を得、蚊取り線香の燃焼時間の延長に成功。`金鳥`、という名の蚊取り線香が全世界で広く販売されるようになったのだという。

有効成分(アレスリン)と除虫菊の粉、植物性の糊(のり)等を混ぜ、さらに緑色の染料と水を加えて練り合わせる。その後シート状に押し出し、機械で渦巻状に型抜きし、網に乗せて風通しのよい乾燥室で2日間自然乾燥すると、二本に組み合わされたおなじみの蚊取り線香ができあがる。

大日本除虫菊株式会社 紀州工場  
場所/有田市山田原180  
電話/06-6441-0451(本社)

# 蚊取り線香

*Awesome Products  
in Wakayama 01*